



海外の整形外科医・学会との交流報告

Dr. Tessa Balach との意見交換会 (令和5年5月)

2023年5月、第96回日整会学術総会の期間中に、AOA (American Orthopaedic Association) -JOA トラベリングフェローで来日された Dr. Tessa Balach と男女共同参画委員会メンバー4名 (山内かづ代担当理事、新関祐美委員長、大泉尚美委員、長嶺里美委員) が参加して、日米の整形外科女性医師の現状について意見交換会を行いました。

RJOS (Ruth Jackson Orthopaedic Society) という女性整形外科医を支援する組織について紹介いただきました。RJOS は、米国初の女性整形外科医 Ruth Jackson から名付けられた組織で、女子医学生、女性研修医に整形外科を紹介する指導プログラムや、メンターの紹介、キャリアサポート、独自の賞やトラベリングフェローシップを提供しています。

AAOS (American Academy of Orthopaedic Surgeons) ではリーダーシップ教育を重要視している歴史があり、Dr. Balach が Leadership Fellows Program に参加した経験を教えてくださいました。彼女はその後、レジデントプログラム責任者を支援する Council on Orthopaedic Residency Directors で委員長を務めているそうです。

ワークライフバランスについてお聞きしたところ、米国でも問題になっており、バランスを完全にとることは難しいと述べておられました。しかし、多くの病院でカルテ記載に音声認識ソフトを取り入れたり、ホスピタリスト (病棟医) による周術期管理などを紹介いただきました。

日本からのこれまでの JOA-AOA フェローは30年間で、女性の参加者は2名です。米国での、女性トラベリングフェローに関して情報をくださいました。やはり、参加者は男性に比べると少なく、小さな子供がいる年齢層であることが理由の一つかもしれません。Leadership Fellows Program では、出張は毎回3-4日で参加しやすいこと、RJOS では行き先や期間を自由に決めることができ、自由度の高いトラベリングフェロー制度があること、などについてご紹介いただきました。

この意見交換会で、日米の共通の問題点や、それぞれの良い取り組みを共有することができました。Dr. Balach との米国での再会を誓った瞬間でした ([写真1](#))。



(写真1) Dr. Tessa Balach との意見交換会 (2023年5月)

(文 上里涼子)